

# 観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち 日本の湖水地方

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

## 観光立町推進基本計画が策定されました

観光を21世紀における日本の重要な政策の柱として明確に位置付けた画期的な『観光立国推進基本法』の成立を受け、富士河口湖町は全国に先駆けて平成19年3月に『富士河口湖町観光立町推進条例』を制定しました。

以降、広報を通じた町民意見募集、観光客へのアンケート調査、4テーマでの分科会、7地区での懇話会などを通じて観光の問題点や課題、必要な施策などを洗い出し、9回の推進部会でそれらを取りまとめ、6回の推進会議を通じて審議し、平成21年3月に最終的な基本計画が策定されました。

計画の対象期間は平成21年4月から平成31年3月の10年間で、理念と目標像は次のようになっています。

計画の理念：富士山と湖の自然と歴史・文化を風景として溶け込ませる魅力的な観光まちづくり

～住民一人一人が楽しんで参画する観光まちづくり～

目標像：“美しく魅力的な風景を楽しめるまち”

“人が魅力の交流滞在型のまち”

“滞在環境や多様な滞在プログラムを楽しめるまち”

この理念と目標像の基本的な考え方は、一級の資源である富士山と湖を舞台として、資源の活用と生き生きとした交流を展開し、“富士河口湖町の人の魅力”を前面に出しながら、自然や歴史・文化的資源を“地域の資産”としていく“観光まちづくり”による“観光立町”を目指すというものです。つまり、“まちの魅力”そのものを高める“まちづくりとしての観光地づくり”を目指そうとしています。

この計画を実行していくためには、地域住民、観光事業者、関連団体の主体的な取組みが必要です。そのため、行政は住民一人一人が楽しんで観光まちづくりに参画できるような仕組みを整えていきます。

計画書は観光課で閲覧できますので、ぜひ一度ご覧下さい。

## 観光まちづくり推進会議のメンバーを募集します！

観光地域プロデューサーの活動は昨年度もたびたび「観光地域プロデューサーだより」で報告してきましたが、今年度も「観光まちづくりカレッジ」の開催を予定しています。ついては、観光まちづくりに関心のある方でカレッジの企画運営に携わる方(=観光まちづくり推進会議のメンバー)を募集します。身近な生活の中に生きがいを探している方、カレッジの集まりで皆で話し合い実行して、楽しい充実した生活の発見をしましょう。若い人や女性もふるってご参加ください。[応募は下記連絡先へ]

今のところ、今年度のカレッジについては、次のようなテーマを検討しています。今年度の観光まちづくりカレッジの開催要領は、新たに集まった推進会議メンバーで検討し、近々募集を行います。

### テーマ1 媒体機能を作る

観光まちづくりに関する地元の面白い動きがいくつもあります。それを住民の視点で広く町内・町外へ広報・発信します。情報をキャッチした人は楽しむために、関心のある活動に参加するためにやって来て、観光まちづくりの一翼をにいます。彼らは実質的に富士河口湖町観光まちづくりファンクラブのメンバーです。そういう媒体機能をカレッジで作らしましょう。

### テーマ2 特産品を開発しそれを観光に結びつける

昨年の本栖地区におけるきのこの森づくりでは特産品本栖きのこのブランド化に向けてのプロジェクトを立ち上げました。富士河口湖町にはその他にいろいろな特産品化される資源が眠っています。その掘り起こしに関心のある方は集まって何かやりましょう。

### テーマ3 朝市のノウハウを勉強する

生産者と消費者の直接の接点の場所が朝市です。また、朝市は地元と観光客の接点です。そこは魅力ある楽しい場所です。朝市開催には、実験を通じてノウハウを見つけ学ぶことが必要です。昨年のカレッジでの経験をさらに深めるよう皆で勉強します。

